

## 第64回大会 <戦評>

### 諏訪中会場

#### 【Aコート】

○準決勝 小井川いい男 (小井川小) 14-12 岡東ライオンズクラブ (岡谷東部中)

ジャンプボールを岡谷東部が獲得、速攻を仕掛けるが得点を決められず、リバウンドから小井川小：長田が反撃、先制点を決める。岡谷東部はパスをつなぎ、積極的に攻めるがなかなか得点につながらない苦しい展開が続く。小井川小：上條のフリースローのリバウンドからパスをつなぎ、小井川小：宮阪がレイアップを決める。対する岡谷東部も、序盤はなかなか得点が決まらずに苦しんだが、岡谷東部：樋口がフリースローを、岡谷東部：林がミドルシュート、スリーポイントと次々に得点を決め、小井川小との点差を1点まで縮め前半を折り返した。

後半開始20秒、小井川小：長田がスリーポイントを決め、その直後、小井川小：市川がレイアップを決めて連続得点、12-6に。ここで流れが小井川小に傾いたと思われたが、岡谷東部：樋口が相手のパスをカットし、レイアップで反撃。さらに岡谷東部：佐藤もシュートを決め12-10。ここから小井川小、岡谷東部共に攻撃がなかなか得点につながらない均衡した展開が続く。残り時間も5分を切るところで小井川小：長田が2人抜きでレイアップを決め14-10。負けじと岡谷東部：林もミドルシュートを決め2点差に。残り時間2分50秒、小井川小がタイムアウト。その直後、小井川のファウルにより、岡谷東部：丸山が2本決めれば同点となるフリースローのチャンス。しかし、フリースローが決めきれない。その後、岡谷東部も善戦したが、得点にはつながらず14-12で小井川小が勝利した。

○決勝 小井川いい男 (小井川小) 14-18 永明 BOYS (永明小)

Aコート決勝戦。試合開始早々、永明：タナカがミドルシュートで先制点を決める。そこからお互いに一步も譲らない攻撃的な展開が続く。永明小：タナカがスリーポイント、ゴール下のシュートと連続で得点を決めて0-7と小井川小を突き放す。ここで永明小がタイムアウト。試合展開では、流れは永明小にあるが、試合数を重ねているメンバーには疲れが見える。タイムアウト後、永明小：タナカがレイアップを決め0-9。このまま前半戦が終わると思われたが、ここで小井川小も反撃にでる。小井川小：長田がスリーポイントを決め3-9とし、前半を折り返した。

後半開始。反撃に出たい小井川小。しかし、お互いにシュートがなかなか決まらない拮抗した展開が続く。小井川小：市川が相手のパスをインターセプト、カウンターを狙うがこれも得点にはつながらない。後半戦先制点を決めたのは、永明小：武田。ゴール下からのシュートを決め、3-11。ここから両チーム得点が動き出す。小井川小：宮阪がジャンプシュートを決めると、永明小：武田も再びゴールしたからシュートを決める。その後、永明小：タナカがスリーポイントを決め、ゲームが決まったかと思われたが、ここで永明小がタイムアウト。残り時間は2分20秒ほど、点差は11点。タイムアウト終了後、小井川小：

長田がスリーポイントで連続得点を決め、反撃。一時は11点あった点差を5点差まで縮める。しかし永明小は小井川小の追い上げに動じることなく、永明小：武田がゴール下のシュートを決め7点差に。ここで追いつきたい小井川小、小井川小：長田が再度スリーポイントを決め4点差とするが、永明小は残り時間を見てパスを回し、ゆっくりとした試合展開に持ち込む。後半戦で猛追を見せた小井川小だが、後一步及ばず、14-18で永明小が見事優勝を果たし、2連覇を成し遂げた。

## 【コート】

○準々決勝 茅野東部デビルエンジェルス(茅野東部中) 18-6 中洲小ひろこさんズ(中洲小)

中洲小#9 臼田のファールにより、東部中#11 降旗のフリースロー。降旗これを2本とも決める。東部中はその後、#2 朝倉、#12 藤森がそれぞれ2本ずつシュートを決め前半10点。中洲小は、#7 大槻、#8 向山がそれぞれ1本決め前半4点。

中洲小は、バスケ経験者である#7 大槻や#2 海沼が中心となって攻めるが、高さもある東部中の固い守りに攻めきれない。

後半、中洲小#9 臼田が2点決めるも、東部中は#2 朝倉が4点、#3 大谷が2点、#6 常盤が2点と、全8得点を奪い、18対6で東部中の勝利となった。

○決勝戦 神明大明神(神明小) 20-22 茅野東部デビルエンジェルス(茅野東部中)

東部中#12 藤森の先制ゴールが決まり、東部中はバランスよく多くの選手が得点を決めていく。前半5分、この試合始めての神明小の得点を#6 濱が決める。しかし、東部中は#8 東浦の0度からのシュートや#2 朝倉のドリブルでディフェンスをぬいてのシュートなどが決まり、神明小の追従を許さない。神明小も、#2 小口のリバウンドシュートや#4 駒村のドリブルシュートなどを決めてくらいつく。8対15で東部中が7点リードして前半終了。

どちらのチームも、コートにいる全員の選手がいい動きをしている。チームでの練習量の多さを感じさせる動きである。

後半2分35秒、神明小#5 中島のリバウンドシュートが決まり、20対18。リードしていた東部中が焦り始める。ここで東部中のタイムアウト。東部中は#2 朝倉がフリースローを決め、21対18。しかしそのすぐ後、神明小#5 中島が0度からのシュートを決め、21対20と残り17秒で1点差に詰める。東部中は、その後、カットからボールをキープし、時間をかけて攻めようとする。そこで、神明小のファール。チームファールが5回目のため、東部中のフリースロー。#11 降旗がフリースローを1本決め、その後タイムアップとなる。20対22の2点差で東部中の勝利。決勝戦らしい白熱した試合だった。

## 【 I コート 】

○第2試合 諏訪よーいDON (諏訪養護学校) 14-7 玉川マヨネーズ (玉川小)

前半、諏訪養護学校は2番矢島のシュートで先制、4番飯田の3P、再び矢島のミドルシュートで得点を重ねる。対する玉川小は4番の橘がフロントコートまでボールを運び、パスを回すがなかなかシュートまでつながらず。しかし6番櫻井の3Pが決まり、玉川小の士気が高まる。前半は、7-3で諏訪養護学校がリードして折り返す。

後半、諏訪養護学校は、1番山口の3Pが決まり点差を広げる。さらに矢島、上井と得点を重ねる。対する玉川小は、前半同様4番橘がボールを運び、パスを回すがなかなかシュートまでつながらず。なんとか2ゴールを決めたものの、なかなか点差は詰まらず、14対7で後半が終了。諏訪養護学校が勝利した。

下諏訪南小にも勝利した諏訪養護学校が、今年もマスターズIコートの優勝チームとなった。

## 長峰中会場

### 【 B コート 】

○1回戦 チーム神中 (黒) 20-13 ちのほくブルドック (白)

中学校同士の対決諏訪対茅野。白ローゼンダール、黒宮澤のジャンプボールでスタート。白畑中のシュートを黒藤木ファール。フリースローが2本はずれ、依然こう着状態。0対0黒宮澤のシュートが決まり、0対2黒藤木のシュートを白小口がファール。2ショットが外れる。黒牛腸のシュートが決まり、0対4。

上中のリード。前半7分。黒宮澤が連続得点0対8。白松林がシュートを入れ返し2対8。前半残り3分白のタイムアウト。白9松林ステップインに黒牛腸がファール。フリースローを確実に決め4対8。どちらも9番宮澤と松林を中心とした攻防の中、黒藤木-白畑中の熟練のプレーが光る。白松林が速攻を決め6対10と接戦。白畑中がシュートを決め8対10。歓声上がる。すぐに黒小沢が入れ返し8対12で前半終了。

後半スタートも激しい攻防が続くも膠着。2分が経つが8対12。白岸田のシュートが決まり10対12と接戦。黒小沢がシュートを決め10対14。後半4分黒のタイムアウト。その後、黒牛腸がシュートを決め10対16。黒宮澤がシュートを決め10対18や黒が優勢か。残り4分。黒宮澤のシュートに白畑中がたまらずファール。2ショット1本を決め、10対19。黒宮澤のカットインに白古清水がファール。フリースローが1本決まり10対20。白#2古清水が女性のシュートで13対20。残り50秒、黒パスをまわし時間を使いながらのオフェンス。得点差をつめようと古清水にパスを集めるが、決まらず。決着。13対20で上中の勝利。

○決勝戦 下諏訪社 (白) 33-7 富士見小 (青)

開始早々、青久保田の3Pシュートで試合が動いた。青は左サイドを中心に攻め立て、青宮澤や青飯田のドライブに白はファールで止めるのがやっと。そして青飯田のフリースロ

一が1本決まって0対4。さらに青久保田のレイアップシュートが決まり0対6となったところで、白は流れを変えようとタイムアウトをとった。しかし青の勢いはとまらず、青飯田の3Pシュートや青細川賢のシュートが無情にもゴールに突き刺さってしまう。白は佐藤を中心に攻めるが、徹底的なマークにあって思うようにプレーをすることができず、得点に結びつけることができない。そして白は青の猛攻にさらに得点を許してしまい、0対16で前半を終えた。

後半開始2分、白はオフェンスリバウンドから白松井のシュートでようやく1本ゴールを決めることに成功する。その後、白鷺澤のシュートも決まり追い上げが始まったかに見えたが、後半も青は衰え知らずで得点を4対25とする。ここで青、白両チームメンバーを交代すると、青は荻原の連続ゴールや西澤のゴールで試合を決定づけた。白も樋口が最後にシュートをし、3点を決めて意地を見せるが、ここで試合終了7対33で富士見小が圧勝し優勝した。

## 【Gコート】

○1回戦 諏訪よーいはじめ（白） 16－7 宮川竜宮丸（黒）

白中村と黒原田のジャンプボールでスタート。最初は黒原田のゴールから始まる。白は奥原がオフェンスリバウンドを取りそのままシュートを決めて2対2。黒はパス回しからチャンスを探り最後に黒原田が外から3Pシュート。これを決める。すると白もすかさず速攻をかけ、白奥原が点を決めて4対5。このあとも白相場のゴールなどで逆転をし、8対5で前半終了。

後半も白は奥原を起点に攻め、あいた選手にパスを通して得点を重ねていき、立て続けに3本のシュートを決め14対5とする。黒はリバウンドがなかなかとれず守る時間が増えていく。しかし一瞬の隙を突いてドリブルで攻め、後半5分以上が経ってようやく黒原田が1本シュートを決める。黒はこれを機に流れを変えようとタイムアウトをとるが、白の気迫のこもるディフェンスにシュートを決めきることができず、しばらくこう着状態が続く。白は最後に相場のシュートで試合を決め16対7で試合終了。

○決勝戦 花田養護 33－2 永明小

前半は、両者とも激しい守りで相手に得点を許さないが、地力に勝る花田養護が、1番福島、9番山口が得点を重ね、前半は10対2で花田養護がリード。永明小は、前の試合で湖東小との試合で接戦を演じ、動きに疲れが見られ精彩を欠くプレーが目立つ。後半は、永明小6番宮澤、7番田中らが懸命に守るが、ファールで攻撃を止めるしかなくファールがかさむ。後半は、元気な花田養護が、1番福島、9番山口、に加え、10番清水や11番菅野らも得点を入れ、33対2の圧勝で試合を終わる。

## 諏訪南中会場

### 【Cコート】

#### ○1回戦 諏訪養護 12-24 茅野東部

一回戦屈指の好カード。茅野東部13駒村の2連続の速攻により4-0と茅野東部がリードする。対する諏訪養護は早いパス回しからシュートを狙うが茅野東部の堅いディフェンスを崩せない。茅野東部は4守矢を中心としたパスワークから12鮎沢のジャンプシュートで得点を重ね、諏訪養護を寄せつけない。諏訪養護も4黒岩、7群上のシュートで追い上げるが、前半は13対4の茅野東部リードで終了する。後半の立ち上がり、どちらもシュートが決まらないが、茅野東部12鮎沢と7浜田、6中村のジャンプシュートが立て続けに決まり、点差が広がる。諏訪養護も反撃を試みるが茅野東部4守矢がゲームをコントロールし、終始茅野東部のリズムでゲームが進んでいく。終わって24-12と茅野東部の圧勝でゲームが終わった。

#### ○決勝戦 諏訪南 45-16 茅野東部

諏訪南13番橋本のレイアップで試合が始まるが、すぐに茅野東部13番駒村のシュートで同点に追いつく。茅野東部の堅いディフェンスに対し、諏訪南は3pなどで得点を狙うがなかなか得点を奪えずにいるところを逆に茅野東部12番鮎沢にミドルシュートを決められる。しかし、諏訪南13番橋本の3pに加え、5番小林、9番赤羽が立て続けに3pを決める、さらに速攻から12番北村のシュートも決まり点差をさらに広げる。何とか流れを取り戻したい茅野東部も、見事なパス回しから得点を奪うが、13番橋本の3pが決まり、点差が開いたところで、前半を終える。

後半も諏訪南5番小林の3pで幕を開ける。速攻からのシュートで得点を返すが、好調5番小林の3p、そしてオフェンスリバウンドを制し12番北村のゴール下からのシュートなどでさらに点差を広げる。何とか点差を縮めたい茅野東部だが、諏訪南1番平田のゴールで逆に点差を広げられる。結局45-16と諏訪南が決勝戦で圧倒的な力を見せつけた。

### 【Eコート】

#### ○準々決勝 岡谷田中小 28-22 湊小

前半から激しい点の取り合いとなる。12-11と岡谷田中がリードする中、岡谷田中5番河西が落ち着いてフリースローを1本決め、リードをさらに広げる。しかし、追う港小も、港小4番が落ち着いて決め、同点で前半を折り返す。

後半、2分近くお互いが決め手をかき、なかなか得点が動かない。先手を切ったのは、岡谷田中小。5番河西のフリースロー、シュートが立て続けに決まり点差を引き離す。追う港小も4番矢島のシュートが決まり点差を縮めるが、岡谷田中5番河西の3pで再び差を広げられ、タイムアウトを取る。タイムアウト後すぐに港小8番今井のゴールで追い上げをはかるが、6番武居のミドルシュート、5番河西の3pが決まりなかなか差を縮めることができない。それでも、港小1番酒井のパスカットから自ら速攻で持ち込みゴールを決めるが、開いた点差を縮めることができず、28-22で今年学校名が改まった岡谷田中が新しい学校名となり初勝利を手に入れた。

#### ○決勝戦 岡谷東部中 31－9 宮川小

両者いいディフェンスからなかなか点を奪えない。先制したのは岡谷東部。リバウンドからの速攻でレイアップを外したところを34番山崎が落ち着いて決める。そこから、一気にペースは岡谷東部に傾く。連続で得点を奪い、宮川小を突き放す。何とか流れを変えたい宮川小はタイムアウトを取るが、15番関口のシュートなどで立て続けに得点を許す。宮川小も2番小林の3Pで反撃をはかるが、岡谷東部15番関口に決められ14－4と岡谷東部のリードで折り返す。

後半も岡谷東部のペース。34番山崎の速攻から、自ら切り込みゴールを奪い、点差を広げる。宮川小も相手陣地に切り込みファールを誘いフリースローを獲得。これを47番田中が決め、点差をつめる。岡谷東部の猛攻を何とか防いできた宮川小だったが、後半残り2分を切り、岡谷東部の10番佐藤の切り込むドリブルから、再び点差を広げられてしまう。何とか、点差を返したい宮川小だったが、結局点差を縮めることができず、31－9と大差で岡谷東部が宮川小の挑戦を退けた。

### **岡谷南部中会場**

#### **【コート】**

#### ○準々決勝 諏訪養護 － 岡谷南部

序盤、諏訪養護の高い守りがゴール下を固める中、岡谷南部がパスを回しながら崩しにかかる。両チーム堅い守りで試合が拮抗する中、岡谷南部#5塩野がゴール下からのシュートを決めて差をつけ始める。対する諏訪養護は岡谷南部の堅い守りに苦しみながらも#7前田と#2関を中心に徐々にシュートを決め始め、15－10で岡谷南部がリードして前半を折り返す。

後半も守り合いの試合展開の中、激しいリバウンド争いが繰り広げられるが、岡谷南部#5塩野が速攻を中心にゴールを決めていき、突き放しにかかる。その後徐々に点差が広がり、28－12で岡谷南部が勝利した。

#### ○決勝戦 永明中 27－14 岡谷南部中

互いに準決勝を余裕を持って勝ち上がってきた2チームの決勝戦となった。試合序盤は永明中が#1神津を中心に攻め得点を重ねる。しかし永明中も岡谷南部中の堅い守りに苦しむ展開。そんな中、岡谷南部中は途中出場の#6飯田が連続シュートを決めて9－9の同点に追いつく。ここからしばらく得点が動かず拮抗した状態が続く。ここから抜け出したのは永明中。#3田中のシュートで引き離すと、前半を14－9で終えた。

後半は調子が戻った#1のシュートで永明中が引き離しにかかる。シュートを決めるだけでなく、ファールをもらってのフリースローを決めたり、中を固めたところで#5ジョシュアが3Pを決めたりと攻撃のバランスがよい。一方の岡谷南部中は永明中の堅い守りに苦しみ、なかなか得点を奪えない。結局27－14で永明中が勝利を収め、2年連続の優勝を果たした。

## 【Hコート】

### ○準決勝 原小 - 諏訪西

ゲーム序盤から激しい守り合いのゲーム。両チームシュートまで持っていくものの、激しい守りにあい、なかなか得点することができない。その中、昨年度優勝校の諏訪西が#6丸山を中心に、徐々にシュートを決め出す。守備も丸山が中心となり、リバウンドを制す。前半は6-1で諏訪西のリードで終了。

後半、原小は外でパスを回し、#4澤登を中心に外角のシュートを狙いに行きつつ、#2名取の速攻などが決まりだし得点を伸ばす。一方、諏訪西は堅い守備からの速攻で決めるに行くが、原小が守備を修正し簡単には決めさせない。これが功を奏し、原小は着実に得点を重ねて残り1分を切ったところで1点差に迫る。緊張感漂う雰囲気のある試合は、最後は10-9の1点差ゲーム。僅差の試合を制したのは諏訪西。守備で踏ん張り、逃げ切って決勝進出を果たした。

### ○決勝戦 長地小 28-9 諏訪西

男子の準決勝とは対照的に、女子は準決勝を共に1ゴール差以下の激戦を勝ち抜いてきた2チームの決勝戦となった。特に長地小は激戦の準決勝から連続しての決勝戦となり、体力的に厳しいと思われた。しかし、その予想を覆し、試合序盤から長地小が#4横林、#6小田を中心に順調に得点を重ねていく。一方諏訪西は長地小の堅い守りに苦しみながらも#1唐沢がシュートを決めてくらいつこうとする。前半は10-4で長地小がリードして折り返す。

後半、粘りを見せていた諏訪西の疲れがピークに達すると、長地小が力強く厚みのある攻めでグングンと押し込み、前半同様#4横林と#6小田を柱として連続得点をあげていく。諏訪西も準決勝勝利の立役者#6丸山が粘りを見せて得点をあげるが、長地小の勢いは止まらず、そのまま点差を広げた長地小が28-9で勝利を収め、こちらも2年連続優勝を果たした。